

平成 23 年度 成果発表会の実施報告

長野県工業技術総合センター 精密・電子技術部門

信州の地産テクノロジー ～研究現場からの情報発信！～

長野県工業技術総合センター 研究・成果合同発表会（プログラム A）を
開催いたしました。

日時：平成 23 年 11 月 8 日（火）

9：30～17：10

会場：長野県工業技術総合センター

精密・電子技術部門（岡谷市）

【プログラム】

時間	場所：精密・電子技術部門 4階視聴覚セミナー室
9:30～	あいさつ 精密・電子技術部門長 丸山 六男
9:40～	■超音波を用いた光学部品の空中非接触保持 ○江口 稔正
10:00～	■高精度非接触輪郭形状測定機の測定事例紹介 ○児野 武郎
10:20～	■微小径ドリル加工の高度化に関する研究 ○新井 亮一、長洲 慶典
10:40～	■パルスレーザーアブレーション薄膜形成法による非鉛圧電薄膜（第 2 報） ○水寄 英明、米久保 荘、黒河内 靖子、工藤 賢一、山岸 光、高木 秀昭、長洲 慶典、菅沼 幸男、西野 入 隆（セラテックジャパン(株)、奥富 衛（同左）、児玉 泰史（同左）、平林 明（同左）
11:00～	■EPMA 分析による技術相談の解析事例ーめっき不具合の原因調査ー ○成田 博
11:20～	■鉛フリーはんだの成分分析に関する研究ー凝固過程と偏析ー ○曾根原 浩幸、成田 博
11:40～	■グラジエントイオンクロマトグラフ分析によるフッ化物イオンの定量 ○林 徹也
12:00～	昼食休憩
13:00～	特別講演 「エネルギーハーベスティング技術の現状、将来展望と課題」 株式会社 NTT データ経営研究所 社会・環境戦略コンサルティング本部 シニアスペシャリスト 竹内 敬治 氏 光、電波、振動、温度差など、周りの環境に希薄な形態で存在する未利用のエネルギーを「収穫」（ハーベスト）して電力にする技術が、エネルギーハーベスティング技術である。電池の交換や電源配線が不要となるため、モバイル機器やワイヤレスセンサーネットワークなど、小型・携帯電子機器向けの電源として期待される。国内外の様々な発電技術・周辺技術の開発及び製品化の現状を紹介し、将来展望と課題を述べる。
14:45～	休憩

15:00～	■極微小径スプリングテストプローブの高周波特性評価技術の開発 工藤賢一、蜜沢雅之、○小池博幸（株みくに工業）
15:20～	■TDR 測定によるピアのインピーダンスについて ○窪田昭真、工藤賢一、蜜澤雅之
15:40～	■オープンサイトにおける電磁波妨害測定の不確かさ評価 ○軽部俊幸、寺島潤一、宮下純一
16:00～	■全自動 EMI 測定システムの開発 ○寺島潤一、軽部俊幸、高木秀昭
16:20～	■三端子擬似抵抗による超絶縁抵抗計の校正 ○染谷貴史、高木秀昭、松沢草介
16:40～17:10	精密・電子技術部門見学（希望者）

○ ポスター展示発表（第2教室）

- ・冷間・温間複合順送プレス加工（第1報） ・プレスによる微細穴加工に関する研究（第1報）
- ・高分解能電子顕微鏡システムを用いた観察事例 ・ポリエチレン中の酸化防止剤の分析
- ・擬似電源回路網インピーダンス校正方法の一提案 ・電気・電子設計支援（CAE）
- ・長野県創業支援センター入居企業の紹介・展示 他

以上、発表12件、パネル展示21枚、特別講演1件の発表を行いました。

☆当日は、76名のご参加をいただきました。ありがとうございました。



成果発表



特別講演



パネル展示